

# あべちゃん通信

令和4年秋号

発行者 福岡県議会議員 あべ 弘彦

# No.7



## ごあいさつ

厳しい国際及び国内情勢の中でも、県民・町民の皆様方が平和に安心して豊かに生活できる環境を構築することが私の役目だと思っています。各種産業の振興、雇用の拡大、健康の増進、教育の充実、安全の確保など、身の回りのことをしっかり改善してゆく所存です。来年春、私の初任期は終了しますが、引き続き皆様方のために頑張りたいので、本活動報告をご一読の上、ご意見・ご要望をお寄せ頂くなど、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

## 広がる遠賀郡の可能性

【水巻町】JR高架橋拡張やJR水巻駅南口の整備が進んでおり、機能充実と安全性の向上が期待されます。



【芦屋町】魚釣施設と、それに調和した港湾環境の整備を行い、地域の観光振興と活性化が期待されます。



【遠賀町】2023年4月遠賀川駅が生まれ変わり、今後の駅南側開発と併せ、より住みやすい町になることが期待されます。



【岡垣町】西部地区にはワインや日本酒、ビールの醸造所ができ今後、観光や産業の発展が期待されます。



## 遠賀郡はもっと良くなる！！

遠賀郡を「もっと住みやすい。もっと働きやすい。そして、たくさんの人に行ってみたいと思って頂ける町へ」そしてそのことにより遠賀郡の方も、遠賀郡外の方もみんなハッピーになれる県政を引き続き目指して参ります。

遠賀郡の合言葉それは  
**住みたい、行きたい、働きたい**  
そんな街を創って参ります！

# 6月定例会



あべ弘彦が副幹事長を務める『緑友会福岡県議団』は、福岡コロナ警報解除後のコロナ対策、物価高騰対策、ウクライナ支援、インフルエンザ等特措法の運用や、農業、工業、教育、雇用などに関し、服部知事の政治姿勢を質しました。この中で農業従事者の支援、自動車産業や半導体産業の振興、児童の保護・福祉という観点から、あべ弘彦は代表質問の項目・内容作成に深く関わりました。

## Q：質問の視点

### Q 急激な生産資材価格の上昇における農業者に対する支援について

- ① 肥料が高騰を続けている事
- ② ウクライナ情勢で更なる値上げも懸念されている事
- ③ 農業者の経営と生産継続をいかに守るのかという事



### A 知事の回答骨子

- ① 農業従事者の厳しい状況は理解しています。(肥料は昨年11月に比べ5割程度高騰)
- ② 補正予算を編成し、支援策を実施します。(肥料価格上昇分の2分の1を助成、燃料等、上昇分は国のセーフティネット制度を活用)
- ③ 今後も生産者に寄り添い、支援して参ります。

### Q 半導体不足で自動車産業界の影響について

- ① 自動車産業は本県の基幹産業である事(県内だけで関連企業を含め600社、雇用と経済を支えている。)
- ② 電動化や脱炭素化への対応など大きな課題がある事(現在の自動車産業界は100年に一度の変革期)本県にとって重要な自動車産業振興のため、どう取り組むのかという事

### A 知事の回答骨子

- ① 昨年10月、検討委員会を設置し、「北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想」を策定しました。
- ② 以下を推進し更なる発展を目指して参ります。
  - ・地元サプライヤーの電動化分野への業態転換の促進
  - ・自動運転といった次世代技術への参入支援
  - ・生産工場のカーボンニュートラル化の促進
  - ・これらを支えるデジタル分野等での人材育成



### Q 児童虐待防止に係わる「福岡ルール」の実績と効果について

- ① 県独自の所謂「福岡ルール」について、取り組みが開始されて約1年になる事
- ② これまで市町村からどのような相談や通告があったのかという事
- ③ 児童相談所はどのように対応したのかという事



### A 知事の回答骨子

- ① 援助助言はこれまでに22件、うち通告に至ったものは12件です。
- ② 虐待の通告があったものについては児童相談所が家庭や親族宅へ訪問し、保護者への出頭要求等を行い48時間以内に全ての子どもの安全を確認しました。
- ③ その際、子どもの生活環境や発育状況、体に傷・あざの有無等を確認し、定期的に健診や予防接種を受ける事、学校に通学させる事等、指導を保護者に行なっています。

### Q 半導体の不足について

- ① デジタル化なしにグリーン産業、地方創生、生産性向上、少子高齢化等は解決できない事
- ② 2020年秋頃からの半導体不足は、企業に様々な影響を及ぼしている事。県内には約400社の半導体関連企業があります。振興のために、どのような事を実施したのかという事

### A 知事の回答骨子

- ① 今年2月、「福岡県グリーンデバイス開発・生産拠点協議会」や「福岡県半導体・デジタル産業振興会議」を設立。
- ② これら組織を中核として、以下に取り組み、半導体産業の拠点形成を図って参ります。
  - ・革新的な技術開発、実証事業や新製品開発に対する支援
  - ・ビジネスマッチング、設計から試作・評価に至る一貫した支援
  - ・半導体人材の育成
  - ・半導体関連企業の誘致等

# 9月定例会



あべ弘彦は、決算特別委員会において、顕在化しつつある社会問題（空き家問題など）の発展的解消、地域産業の持続的発展の確保、福祉の更なる増進という観点から、県政の方向性を質しました。

引き続き、生活基盤である住居、生産業の更なる振興、所謂「社会弱者」の救済という問題に力強く取り組んで参ります。

## Q：質問の視点

### Q 空き家の利活用促進の取り組みについて

- ① 空き家の増加は社会的な問題という事。2年前に開設された「空き家活用サポートセンター」の実績や課題についての事
- ② 空き家利活用の1つである古民家再生の事



### A 知事の回答骨子

- ① サポートセンターに関する情報は29市町村の広報誌に累計78回掲載し、今年8月末時点で1017件の相談に対応しました。また、市場に流通しづらい築年数の経過した空き家等に対し、具体的な活用提案を行う取り組みを始めました。
- ② 古民家再生については、必要に応じて市町村と情報共有を行うなど、空き家の利活用につなげて参ります。

### Q 自動車産業振興に関する取り組みについて

- ① 現在北部九州で生産されている電動車の割合は約17%で、2035年時点では、生産車種の約86%が電動化に対応する必要がある事
- ② 従って地元企業の電動化分野への参入は喫緊の課題という事
- ③ どのような支援を実施するかという事



### A 知事の回答骨子

- ① 「自動車電動化技術道場」を設置しました。（電動化に伴い不要となるエンジンやマフラー等の部品を製造する企業など、76社、190名の方が参加）
- ② 「自動車関連企業電動化参入支援センター」を設置しました。（相談対応や全体調整を行うコーディネーターや専門家等から構成）
- ③ これらに、電動化に関する相談や課題解決のための専門家を派遣）更に工業技術センターと連携した「自動車関連企業電動化参入支援センター」を開設し、サポートをスタートしました。

### Q 地域福祉を支える人材の育成について

- ① 高齢者や障がい者、認知症、生活困窮、ヤングケアラーや引きこもりの方の支援など、地域レベルで日常から繋がりをもって支援を行うためには、その背景にある家族や地域の環境について考えることができる社会福祉を担う人材の育成（養成）・確保が重要という事
- ② 県ではどのような取り組みを行い、今後どのようにされていくのかという事

### A 知事の回答骨子

- ① 県では、「民生委員・児童委員活動に関するQ&A集」を作成すると共に、経験年数6年未満の者に対し、「民生委員児童委員大学」を、また6年以上の者に対し「中堅研修会」を開催しており、その開催経費の助成を行っています。
- ② 人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に作っていく地域共生社会の実現に向け、しっかりと取り組んで参ります。

※定例会詳細は、福岡県議会のHPより「会議録検索システム」で全文読むことができます。

### 《産業の発展と雇用の拡大が期待されます》

【クラフトビール醸造所新設】グランドオープン 2022年12月3日！

国道495号線「成田参道」入り口を超えたところに、岡垣町の良質な水を利用してクラフトビールを作る醸造所ができました。この地域では、ワイン、日本酒に加え、ビールも仲間入りです。



【日本ファインテック(株)新拠点の増設】

半導体や電子部品、医療機器等の製造装置を開発・設計・製作する同社の「岡垣工場C棟」が来年1月、操業を開始します。約30名の新規雇用が生まれる予定です。

### 《観光地として熱くなる遠賀郡西部地区》

海沿いの爽やかなサイクリングロードやタンデム自転車も楽しめ、サイクリストの休憩所としてリンリンクラブ岡垣が整備され、フォトスポットの防波堤アート、キッチンカーステーション、海に見える肉体改造ヨガ教室、家族やカップルで楽しめるリョカamping等々、遠賀郡の西部地区も活性化の一途をたどっています。



### □ あべ弘彦、「福岡県県営住宅管理審議会 会長代行」に就任しました！

県営住宅の問題に留まらず、県営住宅という「切り口」から広く総合的に空き家や古民家の利活用を含め、住環境改善の推進と各種産業の振興に寄与していく所存です。



※空き家・古民家など、住宅にかかわる相談をお受けします！

皆様のご意見をお聞かせください！

住所：遠賀郡岡垣町中央台5丁目1-25

電話：093-701-6600 FAX：093-701-6610

HP：<http://abechan.buf.jp>

✉：[abechan@buf.jp](mailto:abechan@buf.jp)



最後までお読みいただきありがとうございました。引き続き皆様方のために頑張りますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。